PSW-1210(16073)

施工説明書

# 横引排水継手

（C-P17P 用）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

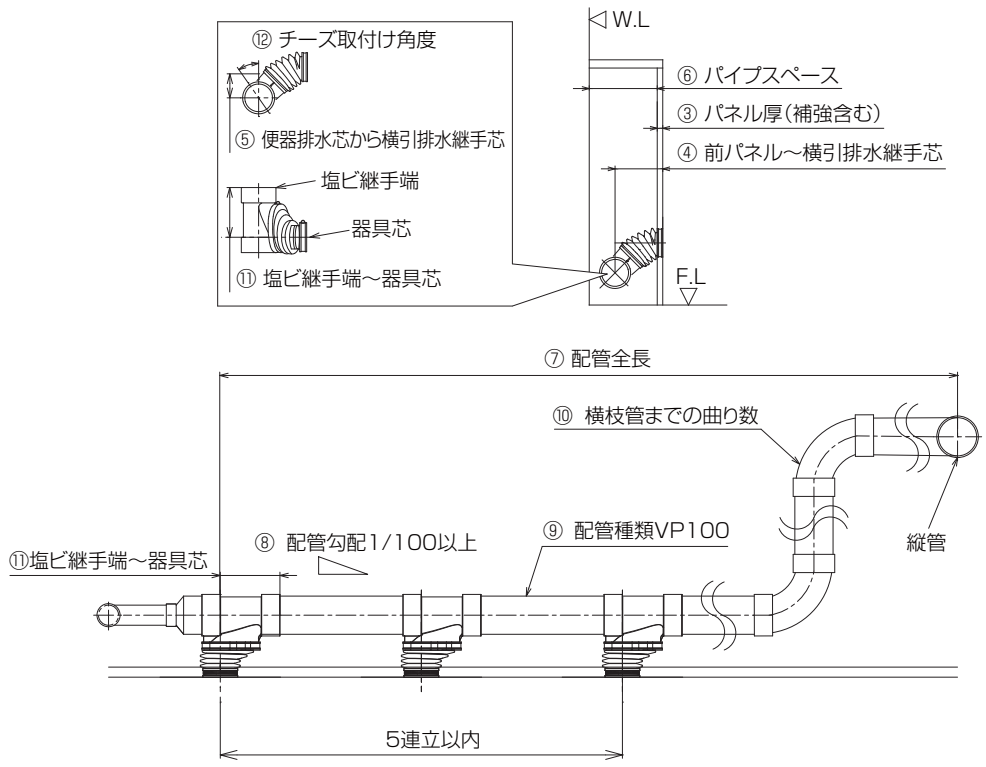
| 注意 | ● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。<br>● 施工後は必ず試運転を行ってください。<br>● お客さまに必ず本書をお渡しください。<br>お渡しするときは、使用方法をご説明ください。 |
|---|---|

## 施　工　前　の　確　認

以下の条件に当てはまることを確認してください。これらを満たさない場合、施工ができない、もしくは施工不良による漏水が発生する場合があります。

| NO | 項目 | C-P17P<br>2 ～ 5 連立 |
|---|---|---|
| ① | SL ～ FL　段差 | — |
| ② | 便器施工高さ | — |
| ③ | パネル厚 ( 補強含む ) | 30mm |
| ④ | 前パネル～横引排水継手芯 | 150 ～ 185mm |
| ⑤ | 便器排水芯から横引排水継手芯 | 15 ～ 100mm |
| ⑥ | パイプスペース | 230mm 以上 |
| ⑦ | 配管全長 | 6.5m 以内 |
| ⑧ | 配管勾配 | 1/100 以上 |
| ⑨ | 配管種類 | VP100 |
| ⑩ | 横枝管までの曲り数 | 2 ヵ所以内 |
| ⑪ | 塩ビ継手端～器具芯 | 178mm |
| ⑫ | チーズ取付け角度 | 5 ～ 30°（※） |

（※）連立数に応じて変わります。



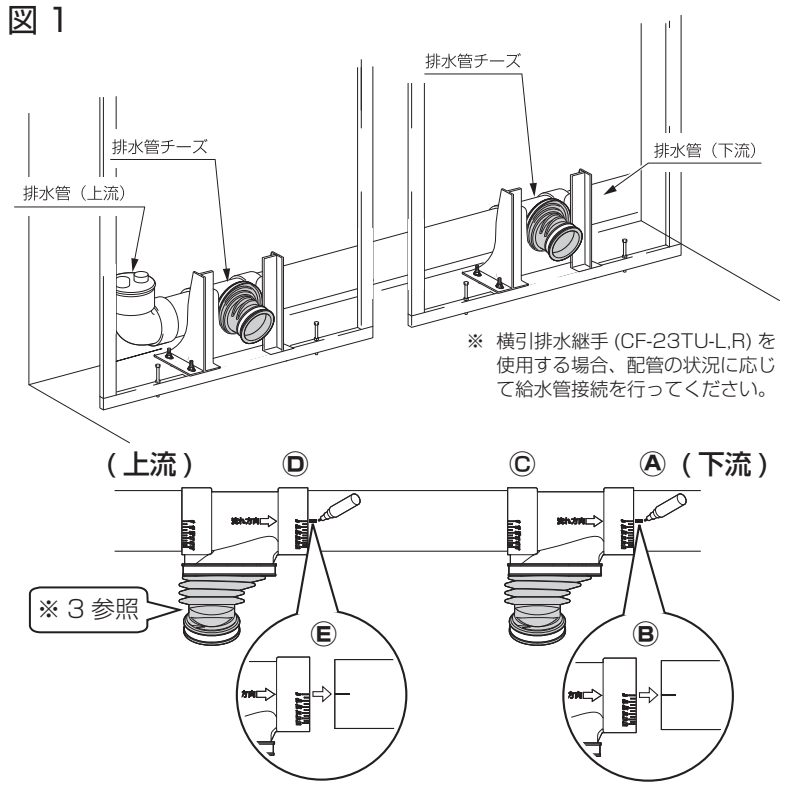

※ 本製品を用いた配管の設置例になります。

## 施　工　方　法

### 1. 排水管の接続・調節

(1) 最下流の排水管の真上にマーカーなどで印をつけます。（図 1 のⒶ参照）
(2) 排水管チーズ取付目盛早見表を参照し、接続する便器が該当する目盛数の位置と、印が合うように排水管チーズと排水管を接置・接着します。（図 1 のⒷ参照）
(3) 排水管チーズの上流側に排水管を接着します。（図 1 のⒸ参照）
(4) 上流の排水管チーズを設置する側の排水管の真上にマーカーなどで印をつけます。（図 1 Ⓓ参照）
(5) 配水管チーズ取付目盛早見表を参照し、接続する便器が該当する目盛数の位置と印が合うように、排水管チーズと排水管を接置・接着します。（図 1 のⒺ参照）
(6)【3 連立以上の場合】（3）～（5）を繰り返し、排水管チーズと排水管を接置・接着してください。

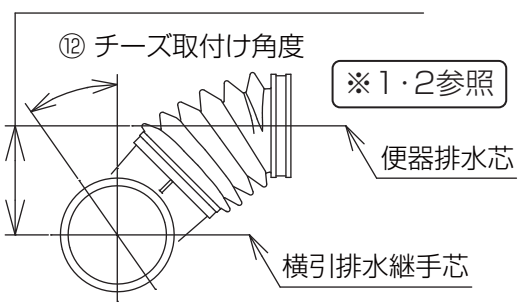
図 1



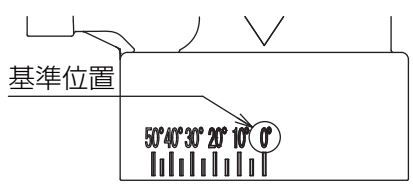

●排水管チーズ取付角度早見表
【便器の芯々間距離 1000mm、勾配 1/100 の場合の設置例】

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑤便器排水芯～横引排水継手芯 (mm) | 15 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 |
| ⑫チーズ取付け角度 [°] | 5 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 25 | 25 | 30 | 30 |

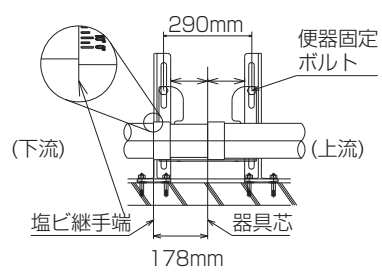
⑤ 便器排水芯から横引排水継手芯




チーズの端部に角度 10°ごとに目盛を付けております。目安にしてください。




塩ビ継手の取付け位置は下流側の塩ビ継手端が器具芯から178mm の位置で合わせてください。
（右図参照）




※ 壁側から見た図

※ 1　ゴムジョイントに被せた養生袋（ビニール袋）は手順「3. ゴムジョントと排水ソケットの接続」まで外さないでください。ごみなどが侵入する可能性があります。
※ 2　排水管チーズとゴムジョイントを締め付けている固定バンドは、ゆるめたり増締めしないでください。漏水、破損の原因となる可能性があります。
※ 3　排出不良の原因となるため、左右を正しく取り付けてください。ゴムジョイントの屈曲部にある２つのヒダ状の突起が上側となり、塩ビ管に刻印された矢印の方向に排出される仕様です。


商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

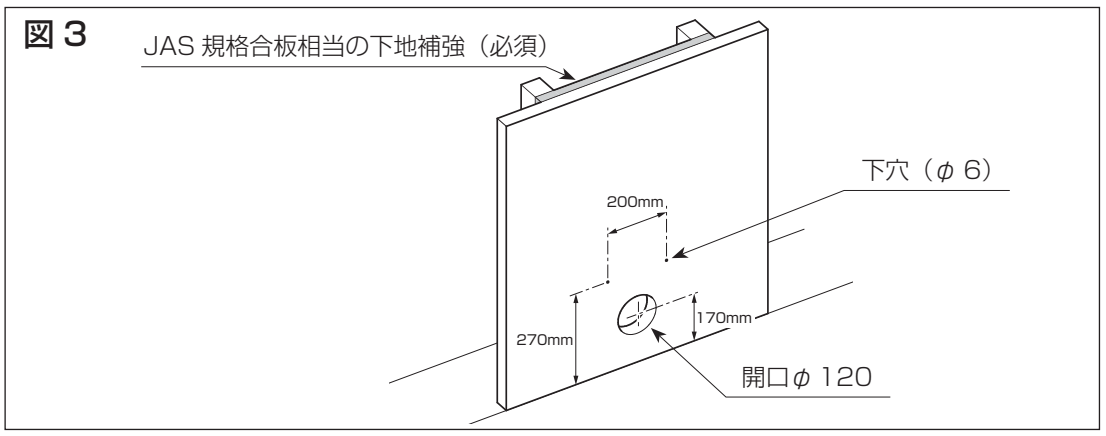
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

# 施　工　方　法

## 2. パネルの開口と下地補強

便器を固定するため、壁パネル（現場手配）もしくはスタッドに下地補強を行います。その後、壁パネルの開口を行います。（図 3 参照）

図 3




## 3. ゴムジョイントとフランジの接続

(1) ゴムジョイントについている養生袋（ビニール袋）を外します。
(2) 排水管チーズのゴムジョイントを壁パネルから引き出します。
(3) 排水管チーズのゴムジョイントとフランジを接続します。（図 4 参照）
(4) 固定バンドを赤色の印が確認できるまで、ドライバー（ビット長さ 20cm 以上）で目一杯締め付けます。（図 5 参照）

注意 1 参照

図 4

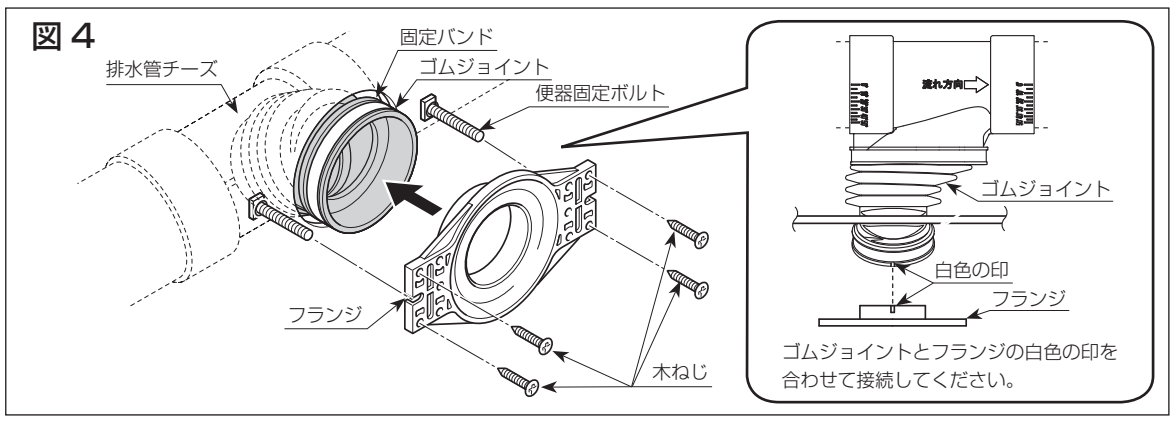
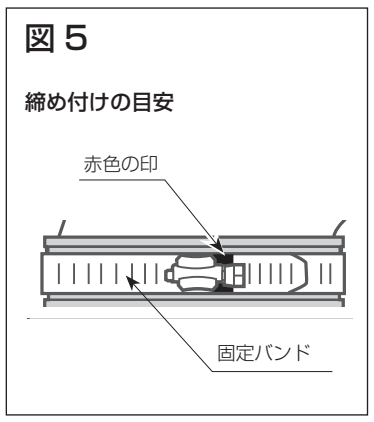



図 5




## 4. 便器の取付け

### 《木造壁の場合》

便器の排水口にブチルガスケットを挿入した状態で、下図のように木ねじ (CF-25C、別手配 ) で便器と壁仕上げ面を、便器固定ボルトで便器とフランジを固定します。（図 6、7 参照）

注意 2 参照

注意 3 参照

図 6

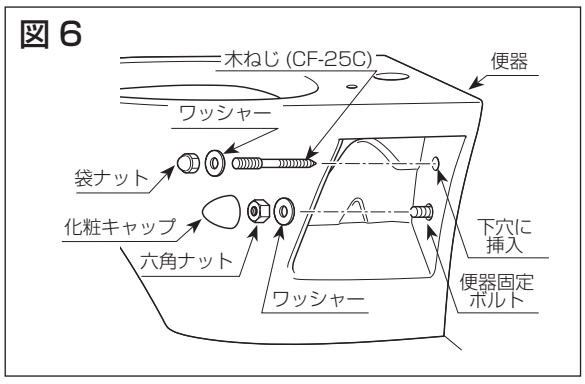
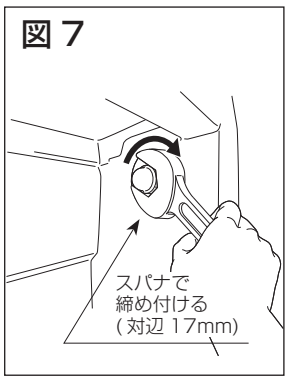


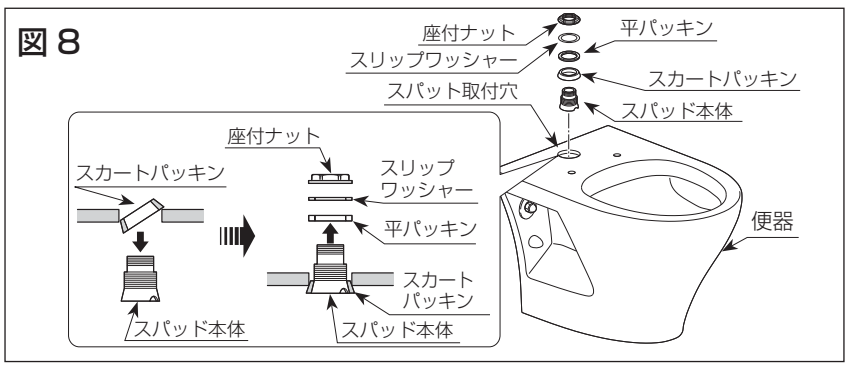

図 7




## 5. スパッドの取付け

(1) 別途手配の径違スパッド (CF-103BB) のスパッド本体を便器のスパッド取付穴に入れ、スカートパッキンをスパッド本体にかぶせます。
(2) スカートパッキンを挟み込みながらスパッド本体を持ち上げ、平パッキン、スリップワッシャー、座付ナットの順に入れ、締め付けます。（図 8 参照）

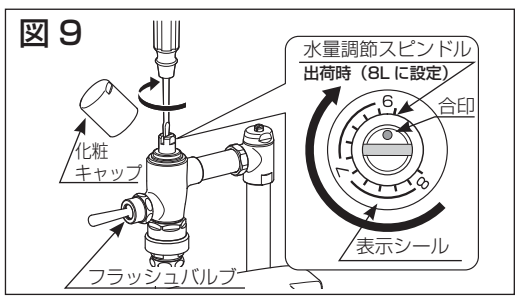
図 8




## 6. フラッシュバルブの取付け・洗浄水量の調整

(1) フラッシュバルブに同梱されている施工説明書にしたがって、フラッシュバルブを取り付けます。
(2) フラッシュバルブの化粧キャップを外し、表示シールを見ながら水量調節スピンドルをマイナスドライバーで回し、合印を8L →6 L に設定します。
（出荷時は合印が8L に設定されています。）（図 9 参照）
※ 使用場所の水圧が 0.07 ～ 0.1MPa のときは水量を 8L に設定してください。

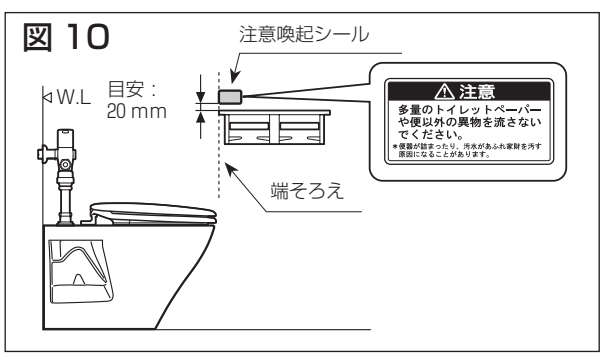
図 9




## 7. 施工後の確認

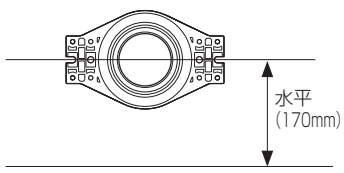
(1) フラッシュバルブを操作して便器鉢内を洗浄し、各接続部に漏水がなく、鉢内洗浄が良好であることを確認します。
※ 排水接続部の漏水点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。
(2) 鉢内洗浄の良否は、長さ 760 mmのトイレットペーパーを丸めたものを 7 個入れ、1 回の操作で排出できることを確認します。
(3) 施工説明書に同梱の注意喚起シールを紙巻器上の壁面に張ります。
（図 10 参照）

図 10




**注 意 1**

- ジャバラを無理に曲げないでください。
- 横引排水管が確実に固定されていることを確認してください。
- フランジと床が水平になっていることを確認してください。




**注 意 2**

- 事前にφ 6 の下穴をあけてから木ねじ（CF-25C）を固定してください。

**注 意 3**

- 便器を固定する際には、便器固定ボルトと木ねじ（CF-25C）を交互に締め付け、ガスケットが均等に密着するように固定してください。